「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する基本方針」に係る取組状況

2023 年 3 月末

1．お客さまにとっての最善の利益の追求

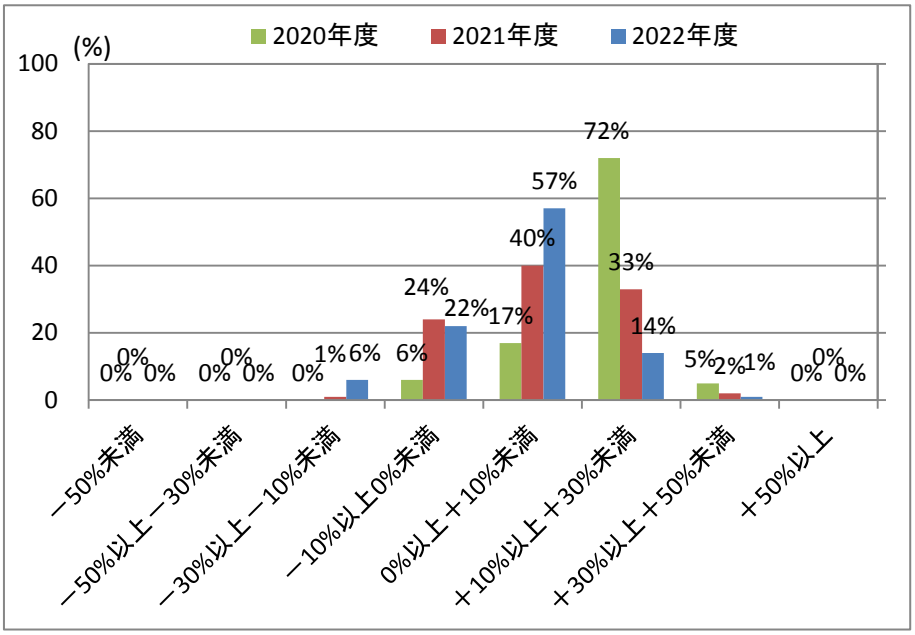
（１）顧客の最善の利益を図ることにより、どのくらいの割合のお客さまにご満足いただけているか、また上位 20 銘柄が平均で見てお客さまの満足を得られる結果となっているかを示しています。

【金融庁原則２本文、注対応】

①運用損益別顧客比率のグラフと分析結果

当金庫にて投資信託を保有しているお客さまの運用損益状況を運用損益率区分ごとに表示しています。

2022 年度は、運用損益率がプラス（0%以上）のお客さまは 72%でした。



【運用損益の区分】	2020年度	2021年度	2022年度
＋50%以上	0%	0%	0%
＋30%以上＋50%未満	5%	2%	1%
＋10%以上＋30%未満	72%	33%	14%
0%以上＋10%未満	17%	40%	57%
－10%以上0%未満	6%	24%	22%
－30%以上－10%未満	0%	1%	6%
－50%以上－30%未満	0%	0%	0%
－50%未満	0%	0%	0%
合計	100%	100%	100%

対象のお客さま　：基準日　各年 3 月末時点に投資信託を保有している個人のお客さま

対象取引　：当金庫の投資信託口座による取引

運用損益　：基準日時点の評価金額＋累計受取分配金（税引き後）＋累計売付金額－累計買付金額（含む消費税込みの販売手数料）

運用損益率　：上記運用益を基準日時点の評価金額で除して算出

②投資信託の預かり資産残高上位 20 銘柄のコスト・リターン/リスク・リターンのグラフと分析結果

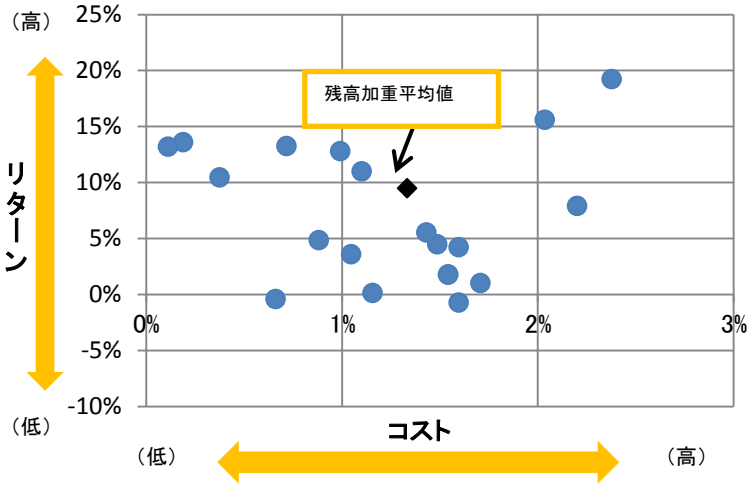
当金庫の投資信託上位 20 銘柄について、コストやリスクに対するリターンを示しています。

2021 年 3 月末時点では、平均コスト 1.33%、平均リスク 14.00%に対し、平均リターン 9.48%となりました。

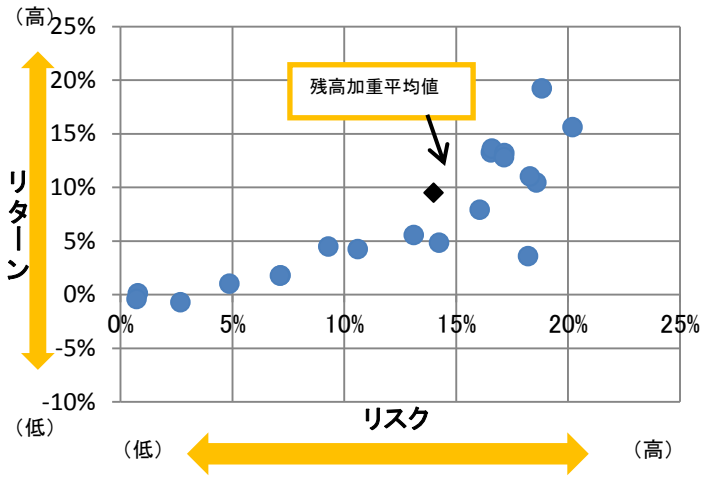
2022 年 3 月末時点では、平均コスト 1.51%、平均リスク 12.07%に対し、平均リターン 8.59%となりました。

2023 年 3 月末時点では、平均コスト 1.02%、平均リスク 13.88%に対し、平均リターン 7.53%となりました。

【2020 年度】

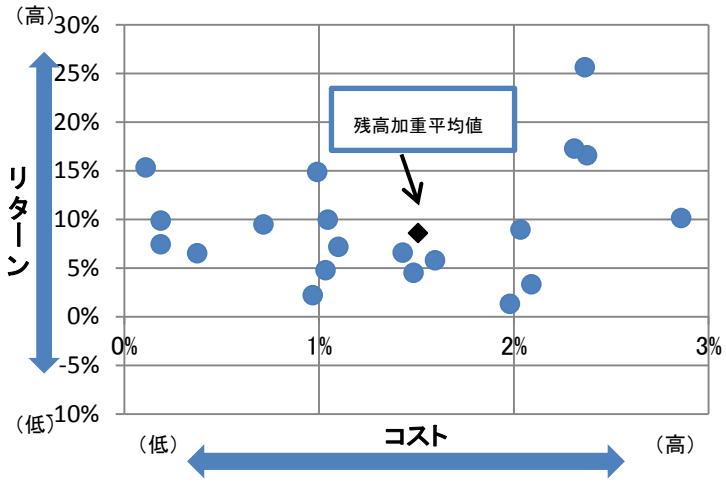


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.33%	9.48%

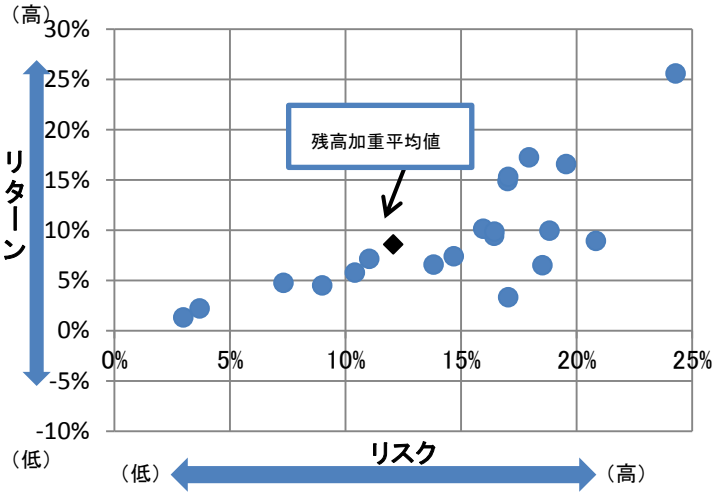


残高加重平均値	リスク	リターン
	14.00%	9.48%

【2021 年度】

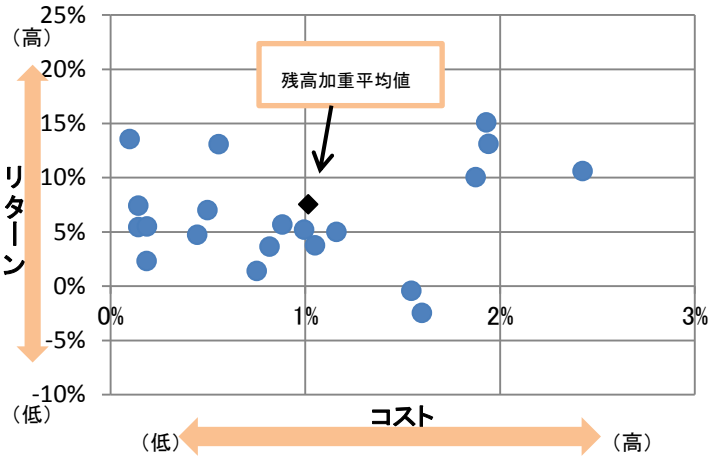


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.51%	8.59%

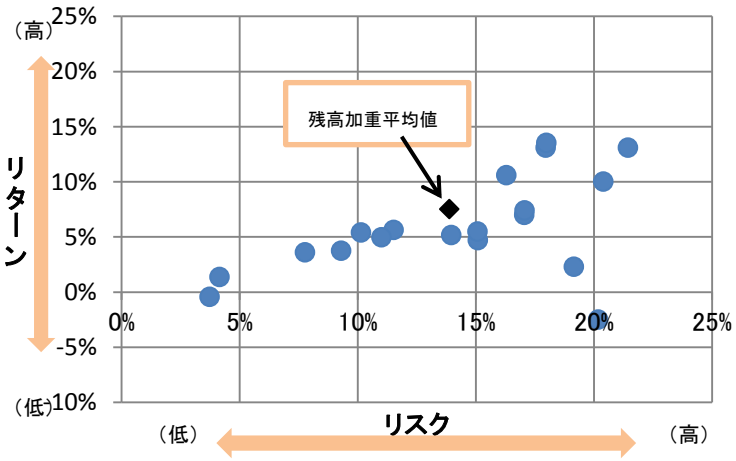


残高加重平均値	リスク	リターン
	12.07%	8.59%

【2022 年度】



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.02%	7.53%



残高加重平均値	リスク	リターン
	13.88%	7.53%

＜預かり資産残高上位 20 銘柄のコスト・リターン/リスク・リターンの成果指標算出基準＞

対象ファンド　：投資信託の預かり残高上位２０銘柄　　（設定後５年以上）

コスト　　：（販売手数料÷５）+信託報酬（年率）

リターン　　：過去５年間のトータルリターン（年率換算）

騰落率算出の際に用いる基準価額は、分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

リスク　　：過去５年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

騰落率算出の際に用いる基準価額は、分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

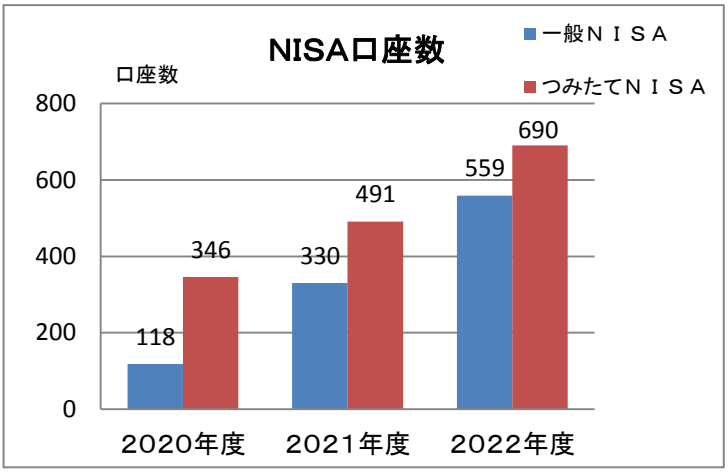
※上記は将来における当金庫が取扱う投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

（２）当金庫は、長期・積立・分散投資により、お客さまの資産形成・運用のお手伝いをさせていただき、お客さまにとっての最善の利益を図るよう努めます。【金融庁原則２本文対応】

①ＮＩＳＡ（少額投資非課税制度）の口座数・残高の推移

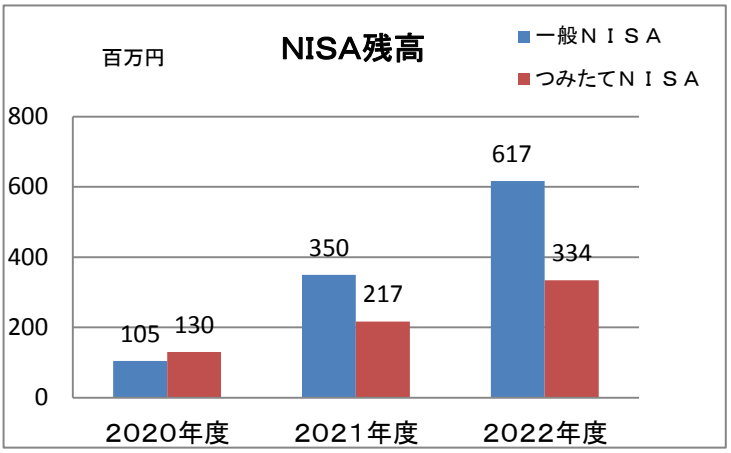
＜口座数＞

年度	一般 NISA	つみたて NISA	合計
2020 年度	118	346	464
2021 年度	330	491	821
2022 年度	559	690	1,249



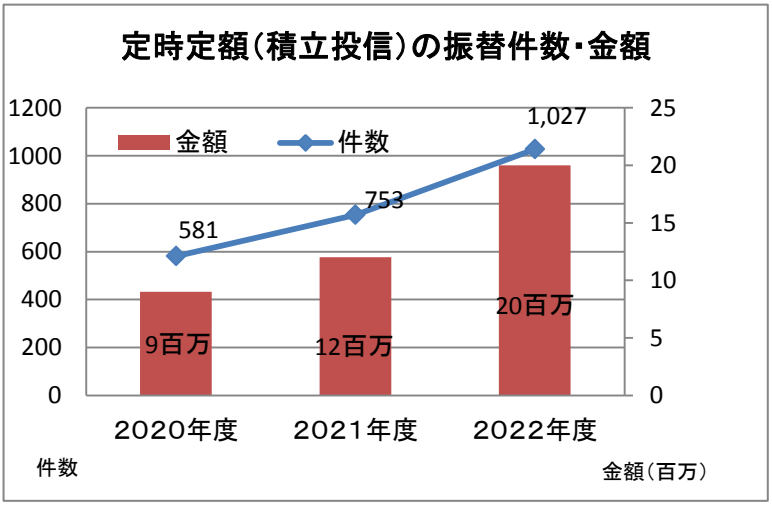
＜残高＞

年度	一般 NISA	つみたて NISA	合計 単位：百万円
2020 年度	105	130	235
2021 年度	350	217	567
2022 年度	617	334	951



②定時定額（積立投信）の利用状況

年度	振替件数	振替金額 単位：百万円
2020 年度	581	9
2021 年度	753	12
2022 年度	1,027	20



２．利益相反の適切な管理

（１）当金庫は、「利益相反管理方針（https://www.sawayaka-shinkin.co.jp/about/policy/pdf/rieki_souhan.pdf）を遵守し、お客さまの利益が不当に害されることの無いよう適切な管理を行います。【金融庁原則３本文対応】

（２）当金庫は、特定の運用会社と資本関係等の特別な関係はありません。また、当金庫の営業職員に対する業績評価、特定の商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

●投資信託販売上位 10 銘柄（2022 年 4 月～2023 年 3 月）【金融庁原則３、注対応】

	商品名	比率	販売金額（百万円）	購入時手数料	運用管理費用	信託財産留保額
1	ＳＭＴ　グローバル株式インデックス・オープン	31.33%	659	2.20%	0.550%	0.05%
2	三菱 UFJ ライフセレクトファンド（安定成長型）	17.98%	379	1.10%	0.814%	－
3	しんきん日経平均オープン	10.55%	222	1.10%	0.495%	－
4	三菱 UFJ ライフセレクトファンド（成長型）	9.61%	202	1.10%	0.880%	－
5	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	6.78%	143	2.20%	2.420%	0.30%
6	しんきんグローバル６資産ファンド（毎月決算型）	6.17%	130	2.20%	1.155%	0.30%
7	グローバルＡＩファンド	5.89%	124	2.20%	1.925%	－
8	グローバル・ロボティクス株式ファンド（１年決算型）	5.85%	123	2.20%	1.936%	－
9	三菱 UFJ ライフセレクトファンド（安定型）	5.85%	73	1.10%	0.748%	－
10	たわらノーロード　先進国株式	2.38%	50	0	0.10989%	－
	合計	100%	2,105			

上記より、販売上位銘柄には購入時手数料の低い商品も含まれており、手数料・運営管理費等の多寡にかかわらず、お客さまのニーズに合った適切な金融商品の提供に努めています。

３．手数料等の明確化

手数料その他の費用については、投信ラインアップや当金庫ＨＰ等において、他の商品と比較が容易となるように並べて示しています。（https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?t=1）
【金融庁原則４対応】

４．重要な情報の分かりやすい提供

（１）当金庫では、投資信託商品の重要な情報について、当金庫ＨＰ等において以下の形で提供しています。
【金融庁原則５本文および注１、３、４、５対応】

①各ファンドの概要、基準価額の推移などについては、商品一覧（https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx）のファンドごとの投信情報ページで示しています。

②ファンドの運用実績やコストについては、ファンド間の比較が可能な形で掲載しています。（https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?t=1）
また、ファンドを複数選択し、商品内容やトータルリターンの推移を視覚的に比較することも可能です。

③リスクの大きさの比較がイメージとして可能となるよう、「投信ラインアップ」では、リスクの度合いを番号を用いて示しています。

④投資信託のご提案の際に、情報をご提供させていただくツールとして、ウェルスアドバイザー社の「Wealth Advisor」をタブレットに導入しています。マーケット状況や購入シミュレーション等、様々な情報を活用し、重要な情報は画面を拡大する等、分かりやすい説明に努めています。

⑤お客様に商品を適切に選択していただくため、「重要情報シート」を活用し、重要な情報を分かりやすくご説

明します。（2023 年 6 月より重要情報シートの取扱を開始しました。）

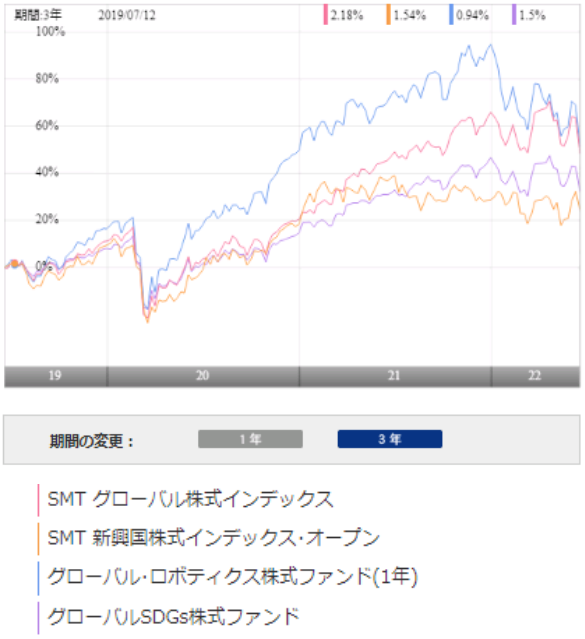
●ファンド比較機能（HP より抜粋）

ファンド比較

基準価額、純資産は　2022年06月20日　現在
トータルリターン等評価情報は　2022年05月31日　現在

ファンド名	SMT グローバル株式インデックス・オープン	SMT 新興国株式インデックス・オープン	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	グローバルＳＤＧｓ株式ファンド
運用会社名	三井住友トラスト・アセットマネジメント	三井住友トラスト・アセットマネジメント	日興アセットマネジメント	三井住友DSアセットマネジメント
基準価額	26,791円	32,584円	21,800円	14,270円
純資産	127,642 百万円	28,029 百万円	294,058 百万円	29,336 百万円
モーニングスターレーティング	★★★★	★★★	★★★★	★★★
ヘッジ	無	無	無	無
インデックスファンド	その他	その他	インデックス以外	インデックス以外
最低申込金額	10000	10000	10000	10000
販売手数料	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%
信託報酬等（税込）	年率0.55%（税込）%	年率0.66%（税込）%	年率1.936%（税込）%	年率1.694%（税込）%
償還日	無期限	無期限	2025年07月22日	2029年02月07日
運用年数	14年	13年	6年	3年
経費率	+0.58%	+0.85%	+1.94%	+1.81%
売買回転率	--	--	--	--
デュレーション（債券の場合）	--	--	--	--
格付（債券の場合）	--	--	--	--
トータルリターン 1年	12.33%	-6.90%	-0.47%	8.57%
トータルリターン 3年(年率)	18.90%	9.68%	21.08%	13.48%
トータルリターン 5年(年率)	13.31%	5.75%	13.52%	--
トータルリターン 10年(年率)	16.73%	8.54%	--	--

トータルリターン相対比較チャート



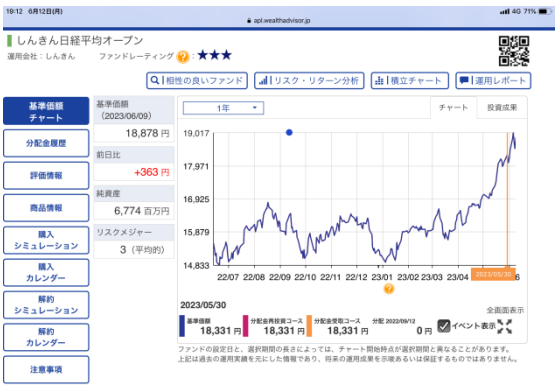
●投信ラインアップ（一部抜粋）リスクランクについて

投資対象 地域	投資対象 資産	ファンド名 運用会社名	商品の特徴	主なリスク（上記「投資信託のおもなリスク」の番号概参照）	リスクランク	決算頻度	投資対象資産	投資対象地域	購入時手数料（税込）	運用管理費用（信託報酬）（年率・税込）
国内	債券	ニッセイ日本インカム・オープン（年1回決算型）【愛称：Jボンド】 ニッセイアセットマネジメント	●日本の多種多様な債券（国債、社債、金融債、ABS等）を投資対象とし、ラダー型（等金額投資）による運用により、金利リスクの平均化と収益性の確保を目指します。国債以外の投資対象債券については原則として投資適格債券（BBB格以上）とし、ポートフォリオの平均格付をA格以上に保ちます。●投資形態はファミリーファンド。	②③⑤	❷	年1回	その他資産【投資信託証券（債券（一般））】	日本	1.10%	（最大で）0.935%
国内	債券	しんきん公共債ファンド【愛称：ハロー・インカム】 しんきんアセットマネジメント投信	●国内の公共債（地方債・国債・政府保証債・財投機関債等）に投資し、利子収入を安定的に獲得することを目指します。原則として、組み入れる債券は組み入れ時の残存期間が10年程度の債券とします。●投資形態はファミリーファンド。	②③⑤	❷	年2回	その他資産【投資信託証券（債券）】	日本	0.55%	0.550%
海外	債券	DIAM高格付インカム・オープン（毎月決算コース）【愛称：ハッピークローバー】 アセットマネジメントOne	●DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドへの投資を通じ、実質的に信用力の高い資源国のソブリン債券に投資します。主な投資対象国は、カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・ノルウェーです。●投資形態はファミリーファンド。為替ヘッジなし。	②③④⑤⑥	❸	毎月	その他資産【投資信託証券（債券）】	グローバル（日本を除く）	2.20%	1.100%
海外	債券	DIAM高格付インカム・オープン（1年決算コース）【愛称：ハッピークローバー1年】 アセットマネジメントOne	●DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドへの投資を通じ、実質的に信用力の高い資源国のソブリン債券に投資します。主な投資対象国は、カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・ノルウェーです。●投資形態はファミリーファンド。為替ヘッジなし。	②③④⑤⑥	❸	年1回	その他資産【投資信託証券（債券）】	グローバル（日本を除く）	2.20%	1.100%
国内外	債券	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型） 三菱UFJ国際投信	●世界主要先進国（OECD加盟国のうち、原則としてA格以上の信用力の高い国）のソブリン債券に分散投資し、リスク分散を図ったうえで、長期的に安定した収益の確保と信託財産の成長を目指します。●投資形態はファミリーファンド。一時的に為替ヘッジを行うことがあります。	②③④⑤⑥	❸	毎月	その他資産【投資信託証券（債券、公債、高格付債）】	グローバル（日本を含む）	1.65%※	1.375%
国内外	債券	グローバル・ソブリン・オープン（資産成長型）【愛称：グロソブN】 三菱UFJ国際投信	●世界主要先進国（OECD加盟国のうち、原則としてA格以上の信用力の高い国）のソブリン債券に分散投資し、リスク分散を図ったうえで、長期的に安定した収益の確保と信託財産の成長を目指します。●投資形態はファミリーファンド。一時的に為替ヘッジを行うことがあります。	②③④⑤⑥	❸	年1回	その他資産【投資信託証券（債券、公債、高格付債）】	グローバル（日本を含む）	1.65%※	1.375%

リスクとリターン	リスクランク	投資目的・リスク許容度
小	❶	収益性が低くてもリスクが小さいことを最優先に考えた運用をしたい
	❷	ある程度のリスクはやむをえないが利子・分配金等による安定的な収入を重視した運用をしたい
	❸	リスクがあっても定期的な収入や値上がり益を重視した運用をしたい
	❹	リスクが大きくても中長期的な値上がり益を重視した運用をしたい
大	❺	リスクが大きくても短期的な値上がり益を重視した運用をしたい

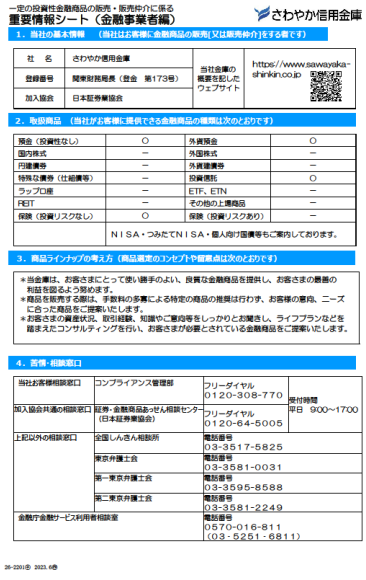
※リスクの大きさは一般的な傾向であり、実際に投資をした場合と異なることがあります。市場動向等によっては上記リスクの大小と大きく乖離することもあります。
上記は当金庫が分類したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
※上記の投資目的・リスク許容度等は、あくまでも目安であり、実際に投資をする場合は、ご自身でご判断ください。

●ウェルスアドバイザー社の「Wealth Advisor」



●重要情報シート　例

＜金融事業者編＞　　＜個別商品編＞



一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る
重要情報シート（金融事業者編）
さわやか信用金庫

1．当社の基本情報　（当社はお客様に金融商品の販売（又は販売仲介）をする者です）

社　名	さわやか信用金庫	当社金庫の概要を記したウェブサイト	https://www.sawayaka-shinkin.co.jp
登録番号	関東財務局長（登金　第173号）		
加入協会	日本証券業協会		

2．取扱商品　（当社がお客様に提供できる金融商品の種類（又は販売仲介）をする者です）

預金（投資性なし）	○	外貨預金	○
国内株式	－	外国株式	－
円建債券	－	外貨建債券	－
特殊な債券（仕組債等）	－	投資信託	○
ラップ口座	－	ETF、ETN	－
REIT	－	その他の上場商品	－
保険（投資リスクなし）	○	保険（投資リスクあり）	－

NISA・つみたてNISA・個人向け国債等もご案内しております。

3．商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

＊当金庫は、お客さまにとって使い勝手のよい、良質な金融商品を提供し、お客さまの最善の利益を図るよう努めます。
＊商品を販売する際は、手数料の多寡による特定の商品の推奨は行わず、お客様の意向、ニーズに合った商品をご提案いたします。
＊お客さまの資産状況、取引経験、知識やご意向等をじっかりとお聞きし、ライフプランなどを踏まえたコンサルティングを行い、お客さまが必要とされている金融商品をご提案いたします。

4．苦情・相談窓口

当社お客様相談窓口	コンプライアンス管理部	フリーダイヤル 0120-308-770	受付時間 平日　900～1700
加入協会共通の相談窓口	証券・金融商品あっせん相談センター（日本証券業協会）	フリーダイヤル 0120-64-5005	
上記以外の相談窓口	全国しんきん相談所	電話番号 03-3517-5825	
	東京弁護士会	電話番号 03-3581-0031	
	第一東京弁護士会	電話番号 03-3595-8588	
	第二東京弁護士会	電話番号 03-3581-2249	
	金融庁金融サービス利用者相談室	電話番号 0570-016-811（03-5251-6811）	

26-220(B)　2023.6版

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る
さわやか信用金庫
重要情報シート　（個別商品編）

1．商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	しんきん日経平均オープン・証券投資信託
組成会社（運用会社）	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
販売委託元	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
金融商品の目的・機能	わが国の株式市場の動きと長期成長をとらえることを目標に、日経平均株価（日経 225）に連動する投資成果の獲得を目指します。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

次のような「質問がある場合は、お問い合わせください。
① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
②この商品を購入した場合、どのようなリターンを受けることができるのか。
③この商品は複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入とともに、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2．リスクと運用実績（本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象とするので、株式の価格の下落や発行体の経営状態の悪化などの影響により、基準価格が下落し、損失を被ることがあります。主なリスクは以下のとおりです。 価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク
【参考】過去１年間の収益率	2.5%　（2023 年 3 月末現在の騰落率）
【参考】過去５年間の収益率	平均：7.6%　最低：-11.0%（2018 年 12 月末）　最高：55.6%（2021 年 3 月末）；（2018 年 4 月～2023 年 3 月の各月末における直近 1 年間の騰落率）

※ 上記の内容の詳細は、契約締結前交付書面（交付目論見書）の「投資リスク」「運用実績」に記載しています。

次のような「質問がある場合は、お問い合わせください。
⑤ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
⑥ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか、あればその商品について説明してほしい。

3．費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用	購入時手数料　1.10%
継続的に支払う費用（信託報酬など）	運用管理費用（信託報酬）年率 0.495%（税抜 0.45%）。その他費用・手数料等が実質ではファンドから支払われます。これは事前に料率、上限等を表示することはできません。
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面（交付目論見書）の「手数・手数料等」に記載しています。

次のような「質問がある場合は、お問い合わせください。
⑦ 私がこの商品に○○万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
⑧ 費用がより低い類似商品はあるか、あればその商品について説明してほしい。

4．換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の償還日は 2029 年 9 月 10 日です。ただし、償還延長または繰上償還の場合があります。

26-220(B)　2023.6版

この商品をお客様が換金・解約しようとする場合の手数料等は、ありません。

金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金の申込受付を中止することがあります。

※詳細は契約締結前交付書面（交付目論見書）の「手続・手数料等」に記載しています。

次のような「質問がある場合は、お問い合わせください。
⑨ もがこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5．当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

当金庫が お客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う運用管理費用（信託報酬）のうち、組成会社から年率 0.165%（税抜 0.15%）の手数料を頂戴します。これは、交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理および購入後の情報提供等の対価です。

当金庫は、この商品の組成会社等との関係等の特別の関係にはありません。

当金庫の就業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※利益相反の内容とその対処方針については、当金庫ホームページのお客さまへの義務遂行に関する基本方針（ご説明）にて、
https://www.sawayaka-shinkin.co.jp/about/policy/fiduciary_duty/　（QRコード）▶
※PDF 形式で掲載しています。

次のような「質問がある場合は、お問い合わせください。
⑩ あなたの会社が扱う手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に勧めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6．相場の概要（NISA、つみたて NISA、iDeCo の対象か否かもご確認ください）

■個人の場合
分配時には配当所得として普通分配金に対して 20.315%の所得税及び地方税が課税されます。換金（解約）時及び償還時には譲渡所得として差益（譲渡益）に対して 20.315%の所得税及び地方税が課税されます。
※ 詳細は契約締結前交付書面（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
※ この商品は NISA の対象ではありません。また、当金庫では iDeCo の取扱いはありません。

7．その他参考情報（質問があるときは、当 Web サイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

①「日経平均株価（日経平均）」は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は、日経平均自体および日経平均を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。②「日経」および「日経平均」を示す標章に関する商標その他の知的財産権は、全て株式会社日本経済新聞社に帰属しています。③当ファンドは、株式会社の責任のもとで運用されるものであり、株式会社日本経済新聞社は、その運用および受益権の取引等に関して一切の責任を負いません。④株式会社日本経済新聞社は、日経平均を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の頻度、遅延または中断に関して、責任を負いません。⑤株式会社日本経済新聞社は、日経平均の構成銘柄、計算方法、その他日経平均の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

・販売会社（当社）が作成した「契約締結前交付書面（目論見書補完書面）」
（URL）https://www.sawayaka-shinkin.co.jp / customer/raise/mutualfund/type/list/pdf/predocst.pdf　（QRコード）▶
※PDF 形式で掲載しています。

・組成会社が作成した「目論見書」
（URL）https://www.sawayaka-shinkin.co.jp/ customer/raise/mutualfund/type/list/pdf/sinjaop.pdf　（QRコード）▶
※ PDF 形式で掲載しています。

契約締結に当たっての注意事項等をまとめた「契約締結前交付書面」、金融商品の内容等を記した「目論見書」については、ご等録があれば、等てお渡しします。
2023.06

26-220(B)　2023.6版　　使用期間　2023.6.10～2023.12.9

（２）当金庫は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合には、個別に購入いただくことが可能かどうかや、パッケージ化しない場合との比較、お客さまにふさわしい商品であるかを検討し提供いたします。現在、そのような情報提供が必要と考えられる商品の取扱はありません。
【金融庁原則５、注２および原則６、注２対応】

５．お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

（１）お客さまの多様なニーズにお応えして、それぞれのお客さまにふさわしい商品を提供できるよう幅広い商品を揃えています。【金融庁原則６本文対応】

●取扱投資信託商品

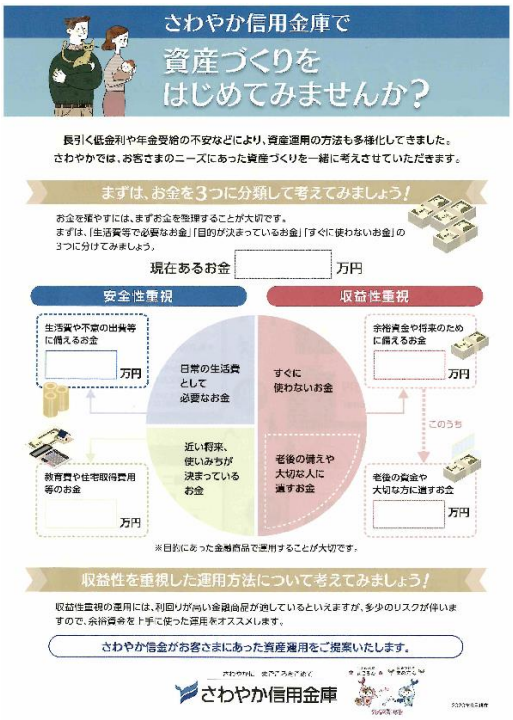
・国内債券　：https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=0
・海外債券　：https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=2
・内外債券　：https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=4
・国内株式　：https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=1
・海外株式　：https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=3
・内外株式　：https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=5
・国内ＲＥＩＴ　：https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=7
・海外ＲＥＩＴ　：https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=9
・国内バランス　：https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=8
・内外バランス　：https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=12
・その他　：https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=6

（２）お客さまの資産状況・取引経験・知識・取引目的・ニーズを把握するために、「ご相談シート」および「お客様カード」を使用し、具体的な金融商品、サービスの提案を行っています。
　また、ツールを用いてお客様の適切な運用金額の設定、お客様のライフプランの確認など、金融取引に関する基本的な知識の情報提供などを行っています。【金融庁原則６本文および注１、注５対応】

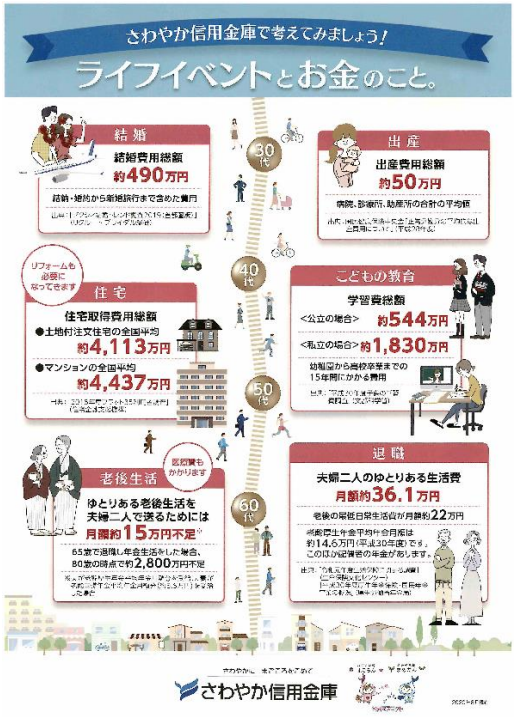
●ご相談シート

●お客様カード

●運用金額の設定



●ライフプランの確認



（３）当金庫はお客さまに投資信託をご購入いただいた後も、アフターフォローを通じて継続的に経済状況・市場動向等の重要な情報を提供しています。【金融庁原則６、注１および注５対応】

①アフターフォロー実績

年度	フォロー対象先	フォロー実施件数	フォロー率
2020 年度	253	603	238%
2021 年度	610	814	133%
2022 年度	1,553	1,845	119%

※お客様の属性･保有状況に応じて一定基準に基づき実施しております。

②アフターフォロー内容

・各運用会社が作成する「月次レポート」や「販売用資料」等を使用して、ファンドの運用状況等を説明しています。

・運用状況の説明については、評価の要因等について、お客さまに分かりやすい情報提供を行うことを心がけています。

・説明に対する反応・ご意向を伺い、その情報を金庫内で共有し、今後のお客さまの資産形成に役立つよう対応していきます。

（４）取扱商品に関する「投信会社が販売対象として想定する顧客属性」については、当金庫のリスク分類との整合性等を検証のうえ、必要と思われる場合に随時提供していきます。（2023 年 6 月より重要情報シートの取扱を開始し、「投信会社が販売対象として想定する顧客属性」について商品ごとに掲載しています。）

【金融庁原則６、注３対応】

（５）当金庫は、７５歳以上のお客さまに対しては、その商品の販売・推奨等が適切か、より慎重に審査するため、営業店役席者の承認を必要とし、理解力・判断能力等に問題は無いかを確認のうえ行います。

【金融庁原則６、注４対応】

６．お客さまの満足度を高めるための人材育成

（１）当金庫は、お客さま本位の営業活動を促進するために、職員の金融商品知識やコンサルティング能力の向上を目指します。【金融庁原則７本文対応】

●ＦＰ（ファイナンシャル・プランニング）資格取得状況（2023 年 3 月末現在）

資格名称	資格取得人数（人）
CFP	8
AFP	31
1級FP技能士	20
2 級FP技能士	454
3 級FP技能士	572
合計	1,085

（２）当金庫職員が取扱商品の理解を深めるために、毎年集合研修および支店ごとに研修を行っています。
また、コンサルティング能力向上のための研修や、お客さま向けにセミナーを開催しています。

【金融庁原則７、注対応】

●2022 年度　研修実績

研修内容	参加のべ人数
預かり資産に関する研修	2,594
課題解決型営業に関する研修	2,019
若手職員に対する基礎研修 （入庫1年目～3年目）	1,909

この他に、お客さま向けセミナーを 4 回実施し、49 名のご参加をいただきました。